

学校法人

# 鶴学園

学園のご案内

広島工業大学

広島工業大学専門学校

広島工業大学高等学校

広島なぎさ高等学校

広島なぎさ中学校

なぎさ公園小学校



### 広島工業大学

工学部、情報学部、環境学部、生命学部の4学部12学科の学びを通して、高い倫理観と実践力、人間性を備えた、地域社会へと貢献できる技術者を育成します。



### 広島工業大学専門学校

工業専門課程と文化・教養専門課程を併せ持つ総合専門学校として、次代を見据えた高度な専門性と豊かな人間力を持つ、ものづくりの現場で活躍できる人材を養成します。



### 広島工業大学 高等学校

自主的に学べる環境と多様なコースで、柔軟でしなやかな個性を育みます。通信制課程のエンカレッジコースでは、豊かな自然環境の中で自分と向き合い、社会的自立をめざします。



### 広島なぎさ中学校 広島なぎさ高等学校

中高一貫の6年間の教育プログラムで、感性や創造力、人間力を育む体験学習をベースに教科学力と生きる力を織り上げた、高い総合的学力と問題解決力を持つ生徒を育てます。



### なぎさ公園小学校

アクティブ・ラーニングやほんものの体験学習を重視しながら、柔軟な感性とコミュニケーションスキル、リーダーシップを兼ね備えた、21世紀型の高学力を養います。



教育は愛なり



育ち、輝く。

鶴学園は、建学の精神「教育は愛なり」のもと、一人ひとりの子どもたちの個性や資質を育みながら、社会の中で輝くことができる人材を育成してきました。その「愛」が、各学校でどのような教育へと結実しているのか、また、これからどのような教育をめざしていくのか。ひとつの想いを胸に多様な姿をみせる、鶴学園の「今」を、ご紹介します。



# 1 幅広い学びを支える、豊富な施設と環境。

広い敷地を生かして、充実した学びの環境を整えています。



キャンパス数

9



総土地面積  
延べ

約709,000m<sup>2</sup>

総建物面積  
延べ

約235,000m<sup>2</sup>

鶴学園  
データ

# 数字で見る鶴学園

## 2 学校生活をともに過ごす、頼もしい仲間たち。

数多くの同級生と過ごす中で、生涯の友人と出会えます。

入学者数

2,308人



創立からの  
累計卒業生数

約107,000人



## 3 先を歩む先輩が、将来の道標に。

社会で活躍する先輩の姿は、子どもたちの目標になっています。

## 7 世界中の人や文化にふれる学び舎。

世界各国の多様な学校とのつながりが、国際的視野を育みます。

## 4 知的好奇心を満たす蔵書の数々。

子どもたちの「知りたい」に応える、多数の蔵書をそろえています。

4



図書館  
蔵書総数

約344,000冊

## 5 縦と横のつながりが、豊かな人間性を育む。

同級生はもちろん、異なる学年との交流も豊かな人間性を育みます。

5



学生・生徒・児童総数

約8,200人

## 6 受け継がれる教育の歴史と建学の精神。

子どもたちの未来をひらく独自の教育を追求し続けています。



創立年数

鶴学園 65年

広島工業大学	58年
広島工業大学専門学校	37年
広島工業大学高等学校	63年
広島なぎさ中学校	60年
広島なぎさ高等学校	56年
なぎさ公園小学校	18年

海外交流  
提携校数

14校





生命学部  
生体医工学科  
食品生命科学科

環境学部  
建築デザイン学科  
地球環境学科

情報学部

情報工学科  
情報コミュニケーション学科

工学部

電子情報工学科  
電気システム工学科  
機械システム工学科  
知能機械工学科  
環境土木工学科  
建築工学科

大学院

工学系研究科(博士後期課程)  
知的機能科学専攻  
工学系研究科(博士前期課程)  
電気電子工学専攻  
機械システム工学専攻  
建設工学専攻  
情報システム科学専攻  
環境学専攻  
生命機能工学専攻



育ち、輝く 地域の豊かな暮らしのために、社会を創る。

専門力

人間力

社会実践力

先行きの見えない社会の中で技術者として活躍していくためには、専門分野に対する深い理解と知識を他の分野と掛け合わせながら、社会や組織の課題を解決することが求められています。実社会と各学科の学びを結びつけるとともに、4年間かけて段階的に幅広い教養や他分野の知識、柔軟な思考力を身につけられるよう、カリキュラムを設定し、確かな「専門力」を養います。

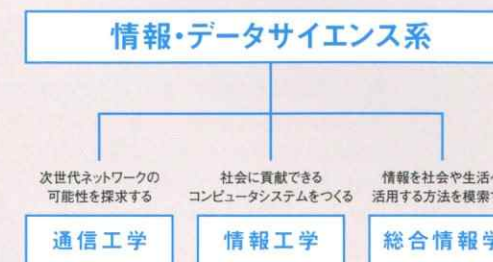
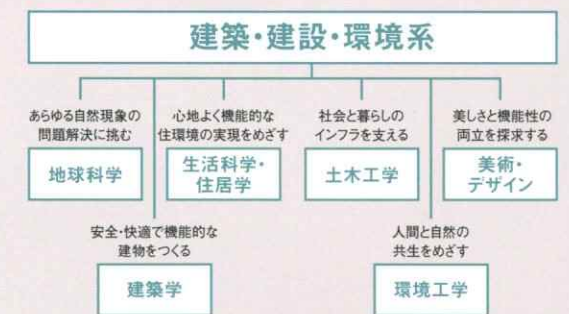


企業など組織の中で他者と協働しながら自らの考えを発信し活躍できるよう、知識や技術に加えて、社会人として活躍するための基礎となる「人間力」の養成に力を入れています。社会貢献活動、自己啓発活動など課外活動を数値化することにより、自らの人間的成長を測る指標とするHITポイント制度の導入などを通して、目標を設定しながら人間力を高めていきます。

それぞれの学科の学びと実社会にかかわる課題に約20人のグループで協働しながら取り組む「社会実践科目」などを通して、答えが決まっていない課題を仲間とともに発見し解決する力を磨きます。また、グローバルな視点で物事を考え必要に応じてローカルで行動する、地域や国際社会で活躍できる力や、異なる立場の人と連携しながら学び合い成長し続けられる力を磨いていきます。

# 学びの領域

分野を横断しながら最先端の研究に取り組むことができる多様な学びを展開しています。



## 高い倫理観を持った社会に奉仕する技術者の育成を。

広島工業大学は創立から約60年になります。49,000人を超える卒業生は、現在さまざまな分野で活躍しています。専門的知識や技術である専門力はもちろん、これからの予測困難な社会を支える技術者として活躍できる人間力、さまざまな人と協働しながら答えの決まっていない課題を解決していく社会実践力を身につけた、高い倫理観を持った社会に奉仕する技術者の育成をめざします。



広島工業大学 学長 長坂 康史



建築学科  
土木工学科  
音響・映像メディア学科  
建築士専攻科

ITスペシャリスト学科  
情報学科  
電気工学科  
機械工学科



育ち、進く スペシャリティとヒューマニティを磨く。

答えのない課題に  
向き合う実践力

どんな現場にも対応できる、高い専門性と実践的な技術力を養っています。開校当初から企業と連携し、インターンシップなどの企業実習や技術者を講師にした特別講義などを行ってきました。現実の課題を企業から提示してもらったプロジェクト学習では、答えのない課題に向き合うことで実践力を鍛えています。教育の質の高さは自負するところで、文部科学省の「職業実践専門課程」に認定されています。



社会に貢献する  
豊かな人間性

全学科で、人としての素養を高める「生き方講座」を開講。コミュニケーション能力やチャレンジ精神を養い、「人づくり」をしています。近隣地域でボランティア活動なども行い、社会への奉仕とともに地域のひととの交流も推進、学外のひとと会う機会はさまざまな価値観や視点に気づききっかけにもなっています。また海外の姉妹校への研修旅行もあり、交流を通じ、人間的にも成長しています。



広島工大と連携した  
深い学び

広島工業大学のキャンパスを利用した学習も行っており、大型設備や先端設備などを使った実習では大学と連携することでより高度で深い専門技術が学べます。学内推薦制度を設け、編入学も可能です。本学で資格や技能を身につけ、さらに大学で知識を習得することで、より広い視野の深い学びが展開。一層の実力が磨かれ、就職の幅も広がると同時に、新たな可能性も開けます。



学びの領域

高度な専門力を養成する7学科と1専攻科で、「ものづくり」の現場でリーダーとなる技術者を育成します。建築士専攻科を除く7学科全てが文部科学省「職業実践専門課程」に認定されています。

システム開発のフィールド  
ITスペシャリスト  
学科

コンピュータの  
ビジネス活用シーンのフィールド  
情報学科

エネルギー活用の  
フィールド  
電気工学科

ものづくりのフィールド  
機械工学科

快適空間づくりのフィールド  
建築学科

まちづくりのフィールド  
土木工学科

エンターテインメント業界の  
フィールド  
音響・映像  
メディア学科

建築設計のフィールド  
建築士専攻科

■ 高い専門技術と豊かな人間性を  
備えた人材を育成。

本学には「高度資格取得」と「就きたい仕事に就く」という2つのミッションがあり、国家資格取得率や就職率の高さにその成果が表れています。開校時から企業と密接に連携し、企業実習の実施や企業の声を反映させたカリキュラムで、学校の学びと現場をしっかりとつなげ実践力を高めています。社会での共生や協働も見据え、人間力の養成にも努め、「専門性へのこだわり」と「時代の変化を先取りする感性」を兼ね備えた未来の「ものづくり」人の育成をめざします。



広島工業大学専門学校 校長 坂本 眞平





育ち、輝く「朗らかに」「誠実に」「しなやかに」生きる。

高大連携による  
深い学び

広島工業大学との連携で、大学の研究設備の見学や、最先端機器を使用した実験・計測体験などを実施。大学教授による高校生向けの特別講義なども開催し、ものづくりの真髄に迫ることで大学での学びはもとより、高校の勉強のその先を知る機会をつくっています。高校と大学の7年間でしっかりと人材を育成します。



自由に選べる  
学習コース

個性やニーズに対応し生徒のめざす進路に合わせて、2つの類型と4つのコースを設定し、効果的な学習をしています。広島工業大学への進学をめざすHITコースでは、大学と連携した授業もあり、学園内推薦枠も設けています。語学力を高め国際感覚を養う「国際教養教育」や、チームワークや問題解決能力などを培う「ライフスキル」の時間を設け、社会で適応する力を伸ばしています。



自ら考え動くことで  
得る学び

主体性、思考力、判断力を養う学びを推進しています。代表的な施設「アカデミックラーニングコモンズ(ALC)」は、図書館エリアをはじめ、プレゼンテーションエリアや国際交流エリアなどをひとつにした開放的な自主学習の場です。また6万㎡の敷地と充実した施設を生かし、クラブ活動にも力を入れています。運動部・文化部とも幅広いフィールドで活躍しており、全国大会に進出するクラブも多くあります。



■ 強さとしなやかさを身につけ  
成長を続けられる人間に。

生徒の個性と進路希望に合わせた類型・コースを設け、生徒それぞれに最適な学習を進めています。学園内の連携により、ICT環境を積極的に整備。さまざまなシーンで活用することで、先端技術に関心を持ち続けられるようなマインドを育てています。変化する社会の中でも成長し続けられる強さとしなやかさを育むため、クラブ活動や国際交流にも力を入れています。



広島工業大学高等学校 校長 山口 健治

〈3年間の流れ〉  
**育つ理由**

生徒一人ひとりが、進路や学習状況に合わせて自由に選べる2つの類型と4つのコース。確かな学習方法で、将来のビジョンをカタチにしていきます。







育ち、輝く 自然の中で学ぶ、森の学校。

自立の心が育つ  
3つの学び

「心と向き合う学び」「交流学习」「テーマ追求型の学び」の3つの学びが、全ての学習活動の中に息づいています。自己理解と自己表現の力を身につけて人間関係を構築する力を育成、意欲的な学びを通じて自信を引き出し、社会的自立をサポートしていきます。さらに海外語学研修やひとり旅プログラムなどの体験は、自己と向き合いながら新しい自分の発見へとつながります。



自分で設計する  
単位制カリキュラム

授業を各自でカスタマイズできる単位制と、学びのリズムをつくりやすい4学期制を採用し、自分のペースに合った時間割で学習します。各々の状況と体調に合わせて組まれる時間割は、生徒に心の余裕を持たせ、登校意欲を促します。全ての教員が、全ての生徒の顔と状況を把握し、チームとして丁寧に支えていく体制には、カウンセラーを含めたサポートチームも大きな役割を担っています。



自然の中で  
五感を覚醒

市街から離れ、山の中の広大なエリアに整備されたキャンパスでの学習活動は、鶴学園からできる壮大なスケールの学びです。キャンプや農作業、乗馬など自然と一体となった体験型の学びを通じ、五感を覚醒させていきます。動物や陶芸、音楽などのセラピーも導入し、五感を刺激し感性を高めることで、個人が持つ能力を目覚めさせるとともに、自己肯定感や他者への尊厳を高めています。



■ 心と向き合い自立に向かう  
学びと歩みをサポート

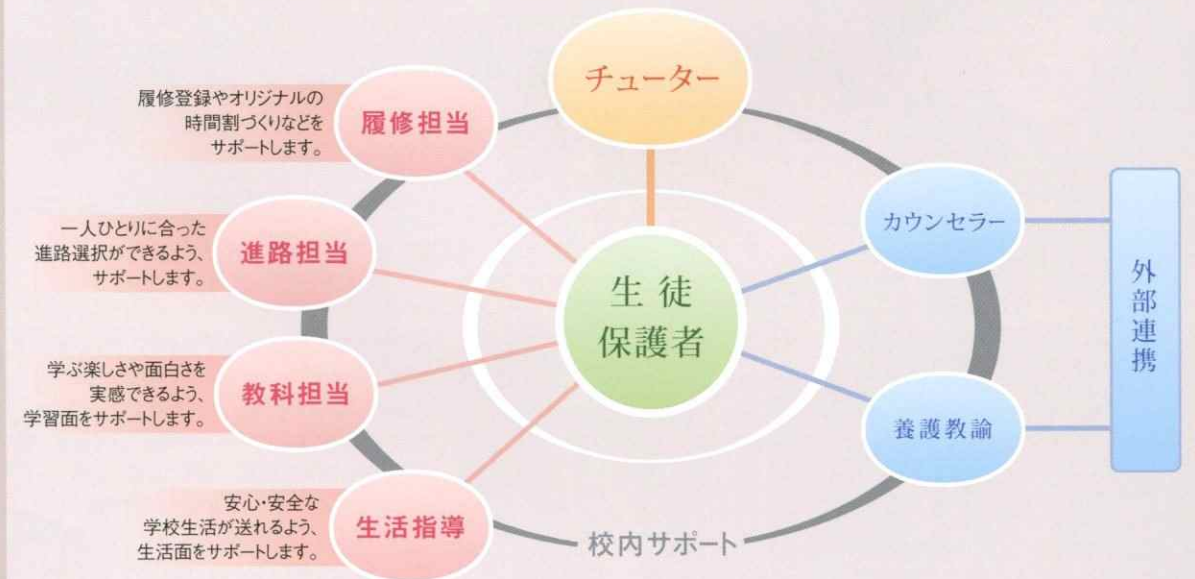
既成の学校のシステムになじめない子どもたちを豊かな自然の中で育てる森の学校です。生徒が自分の心と向き合いながら、能力を引き出せるような学習環境を整えています。単位制の登校型で、イベントや校外活動が多いのが大きな特徴であり、五感を目覚めさせることで、一人ひとりの才能や能力を見つけ、育て、伸ばしていきます。自分に自信をつけて巣立っていった卒業生は、進学や就職、芸術活動など、さまざまな世界で活躍しています。



広島工業大学高等学校 校長 山口 健治

育つ理由 (サポート)

チューターを中心としたチームとして  
カウンセラー、養護教諭が連携し、  
生徒一人ひとりと保護者の方々をサポートします。







育ち、輝く 無限に広がる可能性から、未来をつかむ。

### 中高一貫教育でめざす 21世紀型の高学力

中高6年間を通じた丁寧で深い学びの基本は「調べる→学ぶ→体験する→伝える」のサイクルで、振り返りによるアウトプットを重視しています。アナログ手法のプレゼンで想像力や感性を磨いたうえで、PCやタブレットなどのデジタルコンテンツを駆使して調べ学習や発表を行います。教科学習では、各自が設定した課題に向きあう探究活動もあり、より高次の学力につなげています。



### 英語や異文化を日常化 真の国際感覚を磨く

英語授業はネイティブ教員が英語だけで行い、語学スキルだけでなく、実際にコミュニケーションする力を養っています。本学をはじめ学園の他学校の留学生との交流など、年間を通じてさまざまな国の人とふれあがあります。英語や海外文化に触れることが日常の中にあり、生活の中で国際感覚が備わっていきます。交換留学や研修旅行で日本から飛び出し、広い世界に触れる機会も多く設けています。



### 創造力と人間力を養う 体験型オリジナル教科

本校オリジナルの授業もあります。「創造国際科」は、技術家庭を大胆に改造した授業です。野外活動や伝統文化体験、ロボット製作など、ユニークなプログラムによって好奇心と探究心を引き出し、他教科の学びと結びつけることで、知識と体験が融合します。「人間科」は、自己を理解し、他者や社会と共生するための学びの場です。本校が何より重視する人間力養成を目指す教育の中核を担う授業です。



## 育つ理由 〈教育理念〉

創造力、人間力、国際性を磨き、  
未来を切りひらき確かな学力を養成。  
柔軟かつ主体的に生きるための力を備えます。

#### Objective 1

##### 21世紀型高学力の養成

未来を切りひらき、夢を現実のものにするための  
確かな学力を養成します

- 旺盛な知的好奇心
- 主体的に学ぶ力
- 粘り強い探究心
- 論理的思考力・表現力

#### Objective 2

##### 国際性の涵養

物事を国際的視野で捉え、グローバルな時代の中で  
生き抜くために必要な力を養成します

- 広い視野と国際感覚
- コミュニケーションスキル
- 語学力(4技能の習得)
- 自己発信力

#### Objective 3

##### 想像力の錬磨

五感を刺激する本物の体験をとおして、自分らしい  
発想や感性を養成します

- 発見と感動体験→感性を育てる
- 独創性/創造性
- プレゼンテーション能力
- 自己表現力

#### Objective 4

##### 人間力の育成

自己を開発し、他者や社会と共生していくための力を養成します

- 「関」力→人とのかわわりを学ぶ/協調性
- 「傾」力→徹底的に自分で考える/探究力
- 「胆」力→粘り強く困難を乗り越える/忍耐力
- 「体」力→自分の体を知る/自己調整力
- 「愛」力→思いやりの心を育む/共感性

### 感性+知識で紡ぐ 未来を生き抜く力。

未来へつながる学力と、世界中のどこでもたくましく生きるための国際性、自らを開発するための創造力・人間力を養うことが、私たちの教育です。大胆な視点で教育を追求し、新しい学びをつくり続けてきました。知識や技能の根底には豊かな感性が必要と考え、多くの体験的な学習を取り入れています。課題解決型の学習では複数の教科学習が、教科区分を超えて布を織るように絡み合い、生きる力につながる学力を育てています。



広島なぎさ中学校・高等学校 校長 上野 和之





中高一貫の6年間で、

社会に奉仕できる人材を育成。

感性や創造力、人間力を高めるオリジナルの教育で  
生きる力に裏打ちされた、高い教科学力や問題解決能力を  
6年間を通して段階的に身につけていきます。

完成期

自分の将来を自ら決断し、行動に移す。  
高い目標に向けて、やり抜く力をつける。

[高2] 5年生



人・自然・社会とのつながりを実現できる  
選択型研修旅行(9コース)で、自分の  
生き方を探究する機会を設けます。

[高3] 6年生



進路選択、そのための資格取得、自己推  
薦書など全てを完成させた状態で、受験  
勉強に集中できる環境を整えています。

生徒がめざす大学の特性や分類 に対応したカリキュラムを提供。	
理系MR	研究・医療系 大学進学クラス
理系G	特色・地域貢献系 大学進学クラス
文系	新大学入試に柔軟に 対応できる自由なカリキュラム

体験学習 Pick up!

研修旅行

日本各地や海外の9つ以上のコースから選び、  
体験に取り組みます。

1 学ぶ・調べる

自らテーマを決めて  
文化や社会的背景を調査。

青春18切符で巡る「日本一周」  
など、どのコースもユニークで、深い  
学びが得られるよう設計されて  
います。旅を楽しみながらも、現代  
や未来の問題について発見や考  
察があるのは、各自が自分のテ  
ーマを決めて徹底的に事前学習を  
するからです。

2 体験する

人・自然・社会の  
つながりを体感する。

積極的に現地の方と触れあうこ  
とも旅の目的の一つです。「伊江  
島」「新潟妻有」など、民泊する  
コースでは、特に深い絆が生まれ  
ます。五感をフルに使って、自然、  
歴史、文化の多様性に触れるこ  
とで、学びはますます深まります。

3 伝える

各班ごとに学んだことを  
プレゼンテーション。

旅行が終われば、個人やグループ  
で探究したことを整理し、考察しま  
す。それをコースに参加した全員  
で協力してプレゼンテーションを  
します。オリジナル動画や各種資料  
を、タブレットを駆使して紹介しな  
がら、「伝える」発表をめざします。

研修旅行(日本一周)



研修旅行(ドイツ)



錬成期

知的好奇心を刺激し、問題解決能力を向上させる。  
自ら進路を開拓し、学力の強化を図る。

[中3] 3年生



仕事ウォッチングの発表会や英語のス  
ピーチコンテストなどを通して、プレゼンテ  
ーション能力を養いつつ学びを深めます。

[高1] 4年生



高校から入学してきた3か年生は、6か年  
生、12か年生とともに切磋琢磨しながら  
学力を高めていきます。夜間歩行などの  
行事も行います。

高校  
入学

iPadを一人一台所有し、 進路実現に向けてサポートします。	
ポートフォリオ機能に自己の記録を 入力し、自己推薦書の作成を始めます。	
探究学習入門として 探究的思考・方法を学び、 プレゼンテーションに活用します。	
ICT教育プラットフォームの活用により、 個々にフィットした課題を提供します。	

体験学習 Pick up!

仕事ウォッチング

3年生の冬に会社を訪問し、  
仕事の体験やインタビューをします。

1 学ぶ・調べる

訪問先の企業や  
仕事への理解を深める。

30以上の企業から訪問先を選  
び、マインドマップなどを用いてそれ  
ぞれの企業を分析していきます。自  
分たちが訪れる職場が、他の仕事  
とどう関わっているかを図にまとめ、  
質問内容を考えます。

2 体験する

仕事を体験し  
インタビューを行う。

法律事務所、運送会社、デザイン  
会社など、さまざまな企業から選  
び訪問します。仕事を体験したり、働  
いている方にインタビューする中  
で、働くことの意味や仕事に対す  
る想いを学びます。

3 伝える

より伝える方法を  
工夫しながら発表。

クイズや劇などの工夫を凝らしなが  
ら、グループごとに訪問先で学んだ  
ことや感じたことをまとめて発表。  
「働くとはどういうことか」に向き合  
い、自身の将来の進路、生き方や  
あり方について考えます。



基礎期

学ぶための感性を磨き、自ら学ぶ意欲を向上させる。  
基本的な学習習慣を強化し、基礎学力の定着を図る。

[中1] 1年生



「コの字型」の机の配置でコミュニケー  
ション能力を養いつつ、フォロー週間で基  
礎学習力を徹底して養成します。

[中2] 2年生



ネイティブ教員による少人数クラス編成、  
日本人教員とのTeam Teachingを行  
い、英語への苦手意識をなくします。

授業だけでなく、さまざまな活動を通 して知的好奇心を刺激。	
五感を刺激する、自然体験学習の 発表を文化祭で行います。	
ニュージーランド交換留学を通して 学年全体で国際交流を行います。	
文化祭の奈良・京都研修旅行展で 研修旅行で得た学びをさらに深めます。	

体験学習 Pick up!

森の授業

学びの基礎となる「感性」を磨く、  
週2時間のオリジナル授業です。

1 学ぶ・調べる

五感をひらき、  
各自の心と向き合う。

身近な自然物と接しながら五感を  
ひらき、自分の心がどう動いたの  
かを明確化します。例えば燻製を  
つくる場合は、多様なスモーク  
チップや出でくる煙の匂いを確か  
め、違いを記録。どんな食材に合  
うか予想します。

2 体験する

多様な体験を通して、  
感性を磨く。

校内にある木の「音」を聴く、アロ  
マキャンドルや木炭づくり、田植え  
や稲刈り、たまねぎの収穫、セミの  
抜け殻でオブジェをつくる、コー  
ヒー豆を焙煎して味わうなど、さま  
ざまな体験に取り組みます。

3 伝える

五感を言語化して、  
生徒同士で感覚を共有。

印象に残った感覚や言葉、よく  
使った身体の部位、気づきなどを  
学習カードに記入し、毎週ファイ  
リング。次週の授業の最初には、  
記録をもとに感覚を呼び覚ます  
時間をつくり、生徒同士で感じた  
ことを共有します。







■ 最初の教育だからこそ「自ら学ぶ力」を養う。

学ぶことを楽しい、面白いと感じることで自分で考える力を養い、伸びしろの大きな基礎力を身につけます。近年注目されるアクティブラーニングは本校が長年取り組み、授業開発を続けてきた手法でもあり、ノウハウの蓄積は私たちの誇りです。既存の教科を分けることでより効果的な展開になるよう、オリジナルの教科開発もおこなってきました。教科の枠を飛び越えて多教科をリンクさせたプロジェクト学習や、英語教育にも力を入れています。



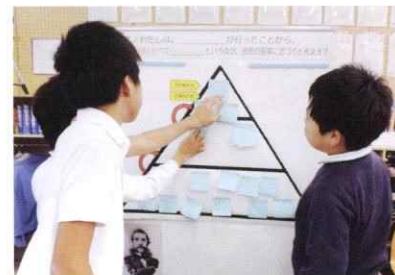
なぎさ公園小学校 校長 渡邊 あけみ



育ち、輝く 子どもたちの可能性は、無限大。

思考力と表現力を養う  
アクティブラーニング

知的な好奇心、論理的思考力、表現力の3つを21世紀型高学力の中核と位置づけ、開校以来、効果的な手法開発に力を注いできました。アクティブラーニングもそのひとつで、協働やディベート、理論の組み立て、研究発表など座学だけではできない学習活動を通じ、学力だけでなく資質も伸ばしています。本学では教科担任制を採用し、高い教科教育力を持つ教員が良質の授業をおこなっています。



未来に生きる  
グローバル教育

英語学習は1年生からスタートし毎週4時間、6年間で840時間あります。低学年は耳の発達期が著しい時期なので、特に発声やリスニングには力を入れ、英語のネイティブによる「フォニックス」学習を導入しているのも特徴です。国際交流の機会も多くつくり、毎年アジアを中心にヨーロッパやオセアニアから訪れる子どもたちと交流し、5～6年生になると海外ホームステイプログラムもあります。



人間力と感性豊かな  
リーダーを育てる

「ほんもの体験」「五感をひらく」教育として、校内ピオトブや学園内の施設などを活用して自然に触れ、日本の季節行事や文化活動を通じ、アイデンティティやしなやかな感性を磨いています。体験が五感を鍛え、豊かな五感が高い学力を紡いでいきます。体験学習はチームで助け合って課題に向き合う機会が多く、思いやりの心や信頼の気持ちを養い、たくましいリーダーを育てます。



育つ理由 〈6年間の流れ〉

知的な好奇心を刺激し、五感をひらく活動を通じ自ら課題を見つけ、考える習慣を身につけ人生を自分で切りひらいていける力を養います。





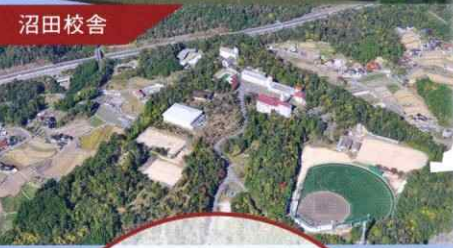
# 鶴学園 アクセス

沼田校舎は、広島市安佐南区伴北6丁目にあります。約20万㎡(約6万坪)の都会のオアシスといえる緑豊かな自然に囲まれた場所にあり、自然体験教育の場として活用されています。

留学生会館は、本学と海外交流協定を締結している大学からの留学生の滞在場所として利用されています。

さまざまな鶴学園の施設から、  
未来へ飛翔する若者たち。  
地域を超え、  
夢に向かって輝きます。

## 沼田校舎



## 沼田校舎/ 広島工業大学高等学校 (通信制課程)

〒731-3163  
広島市安佐南区伴北6丁目4104-2

アストラムライン「大原」駅→  
戸山方面行きバス「下大下」から 徒歩約10分



## 留学生会館



## 広島工業大学 留学生会館

〒733-0871  
広島市西区高須2丁目5-27

宮島線「高須」駅から  
徒歩約6分



## 広島工業大学

〒731-5193  
広島市佐伯区三宅2丁目1-1

JR山陽本線「五日市」駅→  
広電(広島電鉄)宮島線に乗り換えて  
「楽々園」駅から 徒歩15分



## 広島なぎさ中学校 広島なぎさ高等学校

〒731-5138  
広島市佐伯区海老山南2丁目2-1

【JR】山陽本線「五日市」駅南口から 徒歩約10分  
【広島電鉄】宮島線「五日市」駅から  
徒歩約10分



## なぎさ公園小学校

〒731-5138  
広島市佐伯区海老山南2丁目2-30

【JR】山陽本線「五日市」駅から 徒歩約10分  
【広島電鉄】宮島線「五日市」駅から  
徒歩約10分



## 八千代校舎

〒731-0301  
広島県安芸高田市八千代町  
土師大迫11144-1

中国自動車道千代田ICから約15分



## 広島工業大学専門学校

〒733-8533  
広島市西区福島町2丁目1-1

【JR】山陽本線「西広島」駅から 徒歩約8分  
【広島電鉄】宮島線または市内3号線利用。  
「西観音町」駅から 徒歩約1分



## 広島校舎

〒730-0811  
広島市中区中島町5-7

【広島電鉄】「袋町」駅から 徒歩約8分  
【バス】吉島行きバス「平和記念公園前」から  
徒歩約3分



## 広島工業大学高等学校 (全日制課程)

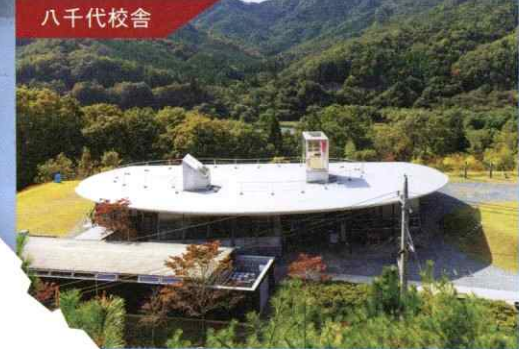
〒733-0842  
広島市西区井口5丁目34-1

【JR】「五日市」駅南口から 徒歩約10分  
【広島電鉄】宮島線「修大協創中高前」駅から  
徒歩約3分



土師ダム近く(安芸高田市八千代町)にある八千代キャンパス。自然の中での木工や陶芸、ピザ作りや星の観察、木製遊具やツリーハウスなどが体験できる自然いっぱいの施設です。

## 八千代校舎



## 広島校舎

広島市内の平和記念公園の近くにある広島校舎。学外の研究機関などの連携の場として、セミナーや研修など学内外の各種行事に活用されています。





## 学校法人 鶴学園

〒731-5193  
広島市佐伯区三宅2丁目1-1  
TEL: 082-921-3121 FAX: 082-921-8934

### 広島校舎

〒730-0811  
広島市中区中島町5-7  
TEL: 082-249-1251 FAX: 082-249-2066

### 八千代校舎

〒731-0301  
広島県安芸高田市八千代町土師大迫11144-1  
TEL: 0826-52-4757 FAX: 050-3156-7532



## 広島工業大学

〒731-5193  
広島市佐伯区三宅2丁目1-1  
TEL: 082-921-3121 FAX: 082-921-8934

### 沼田校舎

〒731-3163  
広島市安佐南区伴北6丁目4104-2  
TEL: 082-848-0145 FAX: 082-848-0167



## 広島工業大学専門学校

〒733-8533  
広島市西区福島町2丁目1-1  
TEL: 082-295-5111 FAX: 082-293-8220



## 広島工業大学高等学校

[全日制課程]  
〒733-0842  
広島市西区井口5丁目34-1  
TEL: 082-277-9205 FAX: 082-279-8245

[通信制課程]  
〒731-3163  
広島市安佐南区伴北6丁目4104-2  
TEL: 082-849-6755 FAX: 082-848-0167



## 広島なぎさ中学校・高等学校

〒731-5138  
広島市佐伯区海老山南2丁目2-1  
TEL: 082-921-2137 FAX: 082-924-3020



## なぎさ公園小学校

〒731-5138  
広島市佐伯区海老山南2丁目2-30  
TEL: 082-943-0001 FAX: 082-943-0004